

千葉市ふれあい自然観察会

コアジサシと浜辺の生き物

奥村和男（習志野市）

日時：5月25日（土）10～12時、天気：晴れ
 場所：千葉市検見川浜
 参加者：12名（大人8名 子ども4名）
 担当指導員：田島・平田・梅宮・奥村・伊藤（事）

自然観察会のお手伝いに参加してきました。「集合場所の稲毛ヨットハーバーってどこ?」「海の生き物について説明できる??」といった具合で、観察会の直前までドキドキでした…。

田島さんの全体説明の後、平田さんのからコアジサシの解説がありました。参加者はコアジサシの生態と数が減っている理由を、クイズ形式でテンポよく学んでいました。その後、田島さんから海の生き物ビンゴの説明と危険生物の注意があり、いざ検見川の浜に海辺の生き物観察へ。説明の上手さに圧倒されつつ、「せっかくだから自分が楽しもう!」と勝手に目標を決め、私も浜へ移動しました。大人の参加者はコアジサシ狙いの方が多く、子ども達は海の生き物に興味を持っているようでした。コアジサシは海の生き物を観察している時に、保護柵周辺で数羽が飛翔しているのを観察できました。「キリッ、キリッ」という鋭い鳴き声とともに飛ぶ姿を見ながら、千葉市の鳥として安心して繁殖できる環境が整っていくことを心の中で願いました。

潮の引いた浜では、びっくりする程の数のヤドカリがいました。水の中を注意深く観察すると、ハゼやタマシキゴカイの糞、ツメタガイの卵塊など、たくさんの生き物の営みを見ることが出来ました。

観察がひと段落してきたところでヤドカリ競争をし、田島さんから採集した生き物と生物多様性の解説がありました。ホヤを押して水が出てくることに、子どもも大人も楽しんでいました。

観察できた主な生き物は、鳥類ではコアジサシ、カワウ、ハシブトガラスなどでした。浜での生き物は、タテジマイソギンチャク、タマシキゴカイの糞、スゴカイイソメの棲管、カンザシゴカイ、イボニシ、アラレタマキビ、ツメタガイの卵塊、イソガニ、タカノケフサイソガニ、カザミ、イッカククモガニ、イワガニ、マンハッタンボヤ、ハゼの仲間などでした。

観察会の後には、田島さんと平田さんと共に、アサリの採集をしました。五感を使って生き物と触れ合う楽しさを再認識した1日になりました。

海の生き物ビンゴにチャレンジ!

<input type="checkbox"/> かいそう いろいろな色の海藻をみつけよう。海辺で小さな生き物がいるよ。	<input type="checkbox"/> いそぎんちゃく 水から出ると 水の中	<input type="checkbox"/> にまいがい 何色に変わるかな? 水に浸ると、黒い殻をみせてみよう。砂の上を這って、色々な生き物を探してみよう。	<input type="checkbox"/> まきがい 何色に変わるかな? 水に浸ると、赤い殻をみせてみよう。砂の上を這って、色々な生き物を探してみよう。
<input type="checkbox"/> ふじつぼ 水から出ると 水の中	<input type="checkbox"/> やどかり 背の黒い点と足の長さの大きさをくらべてみよう。甲殻類の殻をみよう!	<input type="checkbox"/> かに 背の黒い点と足の長さの大きさをくらべてみよう。甲殻類の殻をみよう!	<input type="checkbox"/> えび 水の中を這って、泳ぐ様子を探してみよう。
<input type="checkbox"/> ふなむし 岸の殻をぬえてみよう。波で海の中へ飛ばされる。	<input type="checkbox"/> ごかい これはなに? 水の中に入れて、泳ぐ様子を探してみよう。	<input type="checkbox"/> ほや 水が入るところを探してみよう。おまじろコウジの水が飛び出す。	<input type="checkbox"/> さかな ケースに入れて、観察してみよう。
<input type="checkbox"/> コアジサシ 千葉市の鳥! 飛び回って魚を捕まえる。	<input type="checkbox"/> みつけたとり 	<input type="checkbox"/> きょうの はっけん 	<input type="checkbox"/> きょうの びっくり



ヤドカリ競争



生き物の観察&解説



生物多様性の説明